

# 公益法人等における基金の実務対応とその活用方法

公認会計士・税理士 平松慎矢

---

## 1. マイ基金に関して

基金は、原則として100万円以上であればすぐに作ることができる。

1回完結型でも、数回に分けても、さらに、基金を上積みすることも可能。

寄付は、現金以外でも可。株式や不動産、美術品などで寄付をすることもできる。

株式や不動産による寄付の場合、売却でなく配当収入やテナント収入で助成することも可。

## 2. 基金の管理運営

基金は、一定期間に助成金として使い切る（期間型）と、銀行・信託銀行・国債など、安全で有利な運用を行い、果実の部分を助成する（永続型）がある。

基金の運用方法や運用先等については、寄付者の意向により決められる。

期間型の場合は**基金の原則7%**（※奨学金は原則10%）を寄付時に、永続型の場合は**基金残高の2%**を毎年、税制控除や公募等の煩雑な手続きを行う経費や普及啓発費用として寄付金から徴収する。つまり、それらの経費を除いた残額がすべて助成される。

運用や助成金の支出等の詳しい内容は、寄付者に報告する。

助成先の選定は、外部の学識経験者等で組織する選考委員会を選考した上で、理事会が決定する。

## 3. 基金の申し込み開始

マイ基金は、「基金寄付申込書」と「基金に関する希望事項」に基金の名称や基金の種類、運用先等を記入して申し込みを行う。

遺贈で行う場合、遺言書に基金の寄付を明記して、その遺言のコピーをあらかじめ財団に預けることで、将来確実に実行される。

実際の寄付による基金設置後、寄付者名、寄付財産の内容、社会貢献活動に寄せる志、助成状況などを様々なメディアを使って広報し、助成を希望する団体の公募・選考・助成実施・報告徴収をすべて財団で行い、寄付者は最初の指示とその後の必要な指示等を行うのみとなる。

## 基金の種類

### 期間型の基金

寄付されたお金を一度に助成して使い切る（一定期間内に元本と運用収益の全額を助成する）か、だんだん使い切る（一定額の基金を助成し続けて基金をやがて消滅させる）方式。この場合、確実に早く助成活動を行うことができるが、将来基金はその役割を果たすと同時に消滅する。原則として寄付額は **100万円** から。

### 永続型の基金

寄付されたお金を運用して増やし、増えた分を助成する（基金の元本を取り崩さず、その運用収益の中から永続的に助成活動を行う）方式。

この場合、助成できる金額は少ないが、助成活動を永く行うことができる。原則として寄付金額は **1千万円** から。

## 基金の用途

### 助成基金

助成、顕彰又は奨学金の支給に活用。

### 運営基金

マイ基金を運営する、公益推進協会の運営経費に活用。

### 助成先の選定

一般基金	助成先をすべて選考委員会に委ねる寄付
分野指定基金	助成する分野を寄付者が指定し、助成先は選考委員会に委ねる寄付
地域指定基金	助成する地域を寄付者が指定し、助成先は選考委員会に委ねる寄付
遺贈型基金	身寄りのないご婦人などから、自分の死後、不動産や財産を基金にして、社会福祉事業などに生かして欲しいと、遺言書にて託される基金。この場合、来るべき日を迎えたら、財産処分の上、お名前を付けた基金を設け、ご遺志に従い助成していく。

## 基金の具体例

---

### 《家族のご逝去を悼み設けられた基金》

- 子供を病で亡くし、その病気の治療・研究等にと寄付された「結衣ちゃん心臓移植基金」
- 亡き娘が勤務していた大学に学ぶ外国人留学生に奨学金を支給する「ゆかり北里奨学基金」

### 《遺贈型基金》

- 身寄りのない歯科医のご婦人のご遺志「野良猫の保護活動に」との遺言書にもとづき設置した「吉川ケイ子ねこ助け基金」

### 《公益法人や団体の解散に伴う基金》

- 運営難で解散した NPO 法人が、子どもたちの健全育成を願って残余財産を寄付された「子どもスマイル助成」

### 《現代アートの寄付による基金》

タグチ現代芸術基金は、2020年8月、公益財団法人公益推進協会の中に「タグチ現代芸術基金」を設立。主に寄付された美術品を誰かに助成するというものではなく、現代アートコレクションを日本全国の美術館や学校などに貸し出し、子どもからお年寄りまで、一人でも多くの方に最先端の現代アートに触れていただくという基金。タグチ・アートコレクションは、株式会社ミスミ（現ミスミグループ本社）創業者の田口弘氏によるコレクションで、国内外の現代アート作品およそ550点（2020年10月現在）からなり、長女が収集活動を引き継いだ現在も少しずつ拡張している。所蔵作家は日本をはじめ欧米・南米・アジア・アフリカ等世界各国にわたり、立体・写真・映像など形態・素材も幅広く収集している。田口弘氏の収集の契機は「会社にかけて皆に見てもらいたい」「そのイノベーションの感覚を感じ取ってもらいたい」というもの。そのため当初から、作品の購入は公開することが前提となっていた。「作品は人に見てもらってこそ意味がある」こうした思いから、個人コレクションでありながら人々に見てもらおうための作品収集を続けてきた。コレクションは特定の展示会場をあえて所有せず、各地の美術館等からの要請に応え、全国で展覧会を行う形をとる。首都圏以外の現代アートを見る機会が少ない地域に、世界で注目を浴びる同時代のアーティストの作品を見る機会を提供するために、積極的に展示をすることを主眼とする。



## 『タクト奨学金（2021年度）』 募集要項

2021年10月吉日  
公益財団法人公益推進協会

### 1.目的

この「タクト奨学金(以下、奨学金)」は、税理士法人タクトコンサルティングの寄付を活用して、次世代を担う税理士・公認会計士等会計専門職における人材の育成を図るため、向上心がありながらも経済的に支援が必要である有能な若者へ、専門学校等に支払う資格取得資金を給付することで奨学援護を行い、会計・税務業界に有為な人材を育成することを目的とします。

なお、この奨学金は返済の義務はなく、将来の就職等についても何等の義務もないことといたします。また、他の奨学金制度との併用も可能です。

### 2.応募資格

税理士資格または公認会計士資格の取得に専念し向学心に燃えているが、経済上の理由【世帯年収・・・給与所得者700万円以内(収入金額)・給与所得者以外350万円以内(所得金額)また、両親のいずれかが会社経営者の方は対象外】のため資格取得の勉強継続が困難であり、奨学援護を希望する者(年齢は25歳までとし、学生又は就労していないこと)とし、かつ下記条件(①又は②)を満たす者とします。

- ① 税理士試験2科目以上合格していること
- ② 公認会計士試験を1回以上受験したことがあること

### 3.応募(郵送のみ)・選考方法

**募集期間：2021年10月1日～2021年12月末日(当日消印有効)**

#### (1) 2021年度 タクト奨学金願書

願書は、公益財団法人公益推進協会ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入してください。

#### (2) 作文

「なぜ税理士や公認会計士になりたいと思ったのか、どのような社会人になりたいか」

800文字以内。様式は自由とし、自筆又はパソコンで作成。

#### (3) 試験成績証明書(コピー)

税理士資格を目指す者は2科目合格していることの証書

公認会計士資格を目指す者は、過去受験した成績の証明できる書類

例：公認会計士試験受験者管理ファイル(短答式試験の成績がわかるもの)

短答式試験合格通知書

#### (4) 身元を証明するもの

学生は学生証、大学生以外は健康保険証又は運転免許証のコピー

(5) 同一世帯の所得を証明する書類

例：給与所得者は直近の源泉徴収票、給与所得者以外は税務署又は地方公共団体による直近の所得を証明するもの（税務署の收受印のある確定申告書（控）のコピーも可）等。※応募関係書類（添付書類を含む）は返却いたしません。

4.採用人数

2021年度の奨学生は10名程度とします。

5.支給期間・支給額

年額20万円を支給します。

6.受験結果報告

合否問わず、試験の結果を報告してください。

7.授与式

2022年3月16日18時より税理士法人タクトコンサルティング本社にて授与式を行います。（採用決定者の方をご出席願います）

また、現時点では対面形式を予定しておりますが、コロナ禍による社会情勢や遠方からの移動負担も考慮しつつ一部または全面WEB形式を取り入れる可能性がございます。

応募について

申請書及び証明書関係の資料郵送先

〒105-0004 東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル2階

（公財）公益推進協会 タクト奨学金 事務局

選考方法及び通知

**選考（書類選考）：上記2、3における応募条件及び応募書類を総合的に判断します。**

当財団の選考委員会において厳正に選考し、常任理事会で奨学生を決定します。

そして、2022年1月下旬を目処に申請者に対し、採否を文書で通知します。

奨学金の交付

奨学生決定通知後、税理士法人タクトコンサルティング本社にて**奨学生証書授与式**を行います。その際に、奨学金支給決定者に振込先を記入する用紙を渡し、その用紙が授業料等の振込を証明するものと合わせて当財団に返送され次第、指定先口座に奨学金20万円を一括で振り込みます。但し、振込手数料を差引いた額とします。

以上

## スケジュール

7月 タクト奨学金の基本的な条件等を役員会、部長会議で設計

8月 公益推進協会にてタクト奨学金基金を設立

9月7日～10月1日 募集の告知を実施

資格の学校 TAC	<a href="https://www.tac-school.co.jp/">https://www.tac-school.co.jp/</a>
大原簿記専門学校	<a href="https://www.o-hara.ac.jp/senmon/course/">https://www.o-hara.ac.jp/senmon/course/</a>
LEC 東京リーガルマインド	<a href="https://www.lec-jp.com/">https://www.lec-jp.com/</a>
東京 CPA 学院	<a href="https://cpa-net.jp/">https://cpa-net.jp/</a>
東京 IT 会計専門学校	<a href="https://www.tokyo-itkaikai.ac.jp/">https://www.tokyo-itkaikai.ac.jp/</a>

大学は会計専門職大学院のある大学で母体が専門学校でないところに絞り依頼を開始。奨学金を扱う部署が場合により大学の学生課などで行っていたりするため、その場合は大学院ではなく大学として下記リストに記載。

告知方法は、大学個々の奨学金の告知方法にお任せし、学生さんへの周知にご協力を依頼。学内サイトでの情報告知が情報掲載の主流の様子。コロナの影響から大学通学が制限されている現状を踏まえ対応していただいた。告知依頼後、公益推進協会に学生さんより数件の応募問合せがある状況（応募条件に関する詳細についての質問に対する回答などは複数）

## 募集した専門学校及び大学のリスト

専門学校	<ul style="list-style-type: none"><li>・東京IT会計専門学校（立志舎）</li><li>・東京CPA学院</li></ul>
大学・大学院	<ul style="list-style-type: none"><li>・北海道大学</li><li>・東北大学会計</li><li>・兵庫県立大学</li><li>・明治大学大学院</li><li>・千葉商科大学</li><li>・青山学院大学学務部専門職大学院</li><li>・早稲田大学</li><li>・関西大学</li><li>・関西学院大学</li><li>・熊本学園大学</li><li>・慶応義塾大学</li><li>・横浜国立大学</li><li>・東京大学</li><li>・一橋大学</li><li>・同志社大学</li></ul>

コロナ禍で大学は学生の通学がストップしており、公式ホームページなどでの奨学金コーナーや学生が履修登録する際などにつかう内部連絡用のサイトへの情報掲載などで広く告知

応募締切 10月31日（2021年）

これまでの採用不採用の経緯などは次項参照

初年度◆採用7名

◆条件付き採用4名

◆不採用1名

条件付採用の方は公認会計士論文試験（11月）を受験中の為、2月16日の合否をもって不合格なら採用、試験合格なら公認会計士となる為、不採用となります。

**【最終結果】**

2020年度 (初年度)	新規応募数 12名 採用者 10名
2021年 採用者の合否	10名中 2名合格 継続希望者 6名
2021年度 (2回目)	新規応募者 3名 採用者 2名 継続希望者 6名 採用者 4名 採用者 6名

授与式（約30分程度）

基金設立者（タクトコンサルティング）からのご挨拶、公益推進協会 代表理事福島様からのご挨拶、奨学生からの自己紹介という流れで行う。

## 2020 年度

	名前	税理士	会計士	氏名	年齢	院生	大学	専門	他	2021年		合否	継続希望	2022年
1	■		○	男性	25				○	条件付き	採用	不合格	あり	採用
2	■		○	男性	22	○				条件付き	不採用			
3	■		○	男性	20		○			条件付き	採用	不合格	あり	採用
4	■		○	男性	22		○			条件付き	採用	合格		
5	■		○	男性	25					採用	採用	不合格	あり	採用
6	■	○		女性	24	○				採用	採用	不合格	あり	
7	■		○	男性	23		○			不採用	不採用			
8	■	○		女性	20		○			採用	採用	不合格	あり	採用
9	■	○		男性	23				○	採用	採用	不合格	なし	
10	■	○		女性	23	○				採用	採用	不合格	あり	
11	■		○	男性	25				○	採用	採用	合格		
12	■		○	男性	24	○				採用	採用	不合格	なし	

## 2021 年度

	名前	税理士	会計士	氏名	年齢	院生	大学	専門	他	2021年		合否	継続希望	2022年
1	■		○	女性	22		○			採用				
2	■		○	男性	21		○			採用				
3	■		○	男性	25	○				不採用				